

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	防犯団体支援事業	コード	93201
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民生活課	作成者 吉沢 透
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	生活安全対策の推進
		予算科目	安全施設管理費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	啓発活動、補助事業等		
目的	対象者	市民	
	意 図	市民が安全・安心して生活できるよう、各種の防犯活動を行う団体に対し、活動が円滑に行われるよう支援する。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>・犯罪の未然防止と青少年の非行防止を図るため、岡谷市防犯協会連合会や関係機関、団体と協力し、各種防犯運動及び啓発活動を行った。</p> <p>岡谷市防犯協会連合会 会 長：岡谷市長（部課長及び主幹が役員） 事務局：岡谷警察署 生活安全課</p> <p>・岡谷市防犯協会連合会理事会・総会、長野県防犯協会連合会総会、プロジェクトO24等へ出席した。</p> <p>・各区が行う防犯灯の新設や灯具の改修に対する助成、防犯灯電気料の全額負担を行い、夜間の犯罪、事故防止を図った。</p> <p>新設：21灯 支柱建替：5灯 灯具交換：21灯</p>		
前年度の課題への対応	特になし		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	総会、会議出席回数			単位 回
実績値	6	6	7	
*指標の説明	団体が開催する会議等への出席回数			
② 成果指標（指標名）	総会、会議出席回数			単位 回
目標値	6	6	6	6
実績値	6	6	7	
達成度	100.0%	100.0%	116.7%	
*指標の説明	団体が開催する会議等への出席回数			
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の平均値			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	13,213,046	14,449,730	15,169,292	16,075,000
経常経費	13,213,046	14,449,730	15,169,292	16,075,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	-			

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
正規職員の人数(人)	0.18	0.18	0.18	0.18
③ 合計コスト(①+②)	14,653,046	15,889,730	16,609,292	17,515,000
前年度比		108.4%	104.5%	105.5%
財源内訳				
一般財源	14,653,046	15,889,730	16,609,292	17,515,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明	-			
④ 活動一単位あたりコスト	2,442,174	2,648,288	2,372,756	
前年度比		108.4%	89.6%	
⑤ コストに関する補足説明	-			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
暴力追放県民センター賛助会費	件数	1	1	1	1
	金額	50,000	50,000	50,000	50,000
防犯灯電気料負担金	件数	4,983	5,001	5,029	5,054
	金額	12,880,446	13,731,830	14,635,792	15,525,000
防犯灯設置補助金	件数	47	66	47	44
	金額	282,600	667,900	483,500	500,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	13,213,046	14,449,730	15,169,292	16,075,000
	割合	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	116.7%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	116.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 特になし	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 特になし	
改善方法		
改善開始時期		

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---